



^ふ富士山^じに^{さん}いちばん^{ちか}近い^{みなと}港

わたしたちの^た田子^ごの^う浦^ら港^{こう}



静岡県田子の浦港管理事務所

郷土の港を知るために

日本には約1,000の港湾があります

代表的な貿易港は国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾と呼ばれ全国に126港あります。静岡県内では清水港が国際拠点港湾、田子の浦港・御前崎港が重要港湾となっています。

港は昔から内外交易の拠点として、私たちの暮らしをささえ、都市の繁栄や文化の発展に大きく貢献してきました。

島国の日本では海外から沢山の原料を輸入していて、製品も外国に市場を求めることが多く、そのため“港は工場の主要な一部だ”とさえいわれるほど、経済の発展に重要な役割を果たしています。



石炭船C.S.プリンセス号
(船の長さ 183メートル)



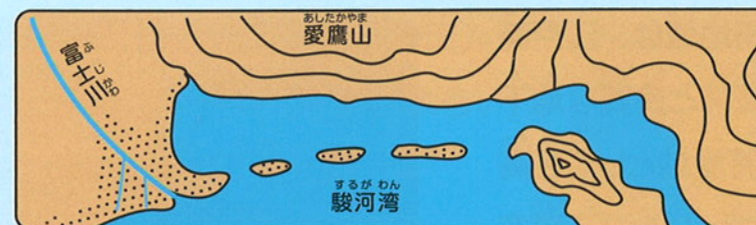
港のおいたち



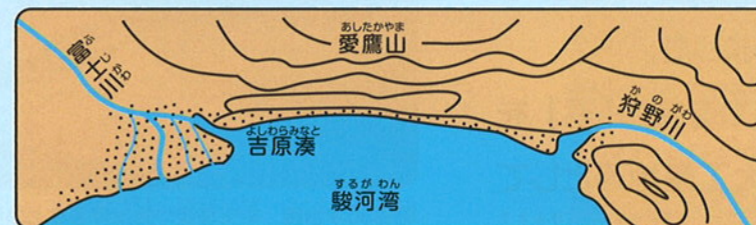
沼川石水門

富士川の流れと田子の浦

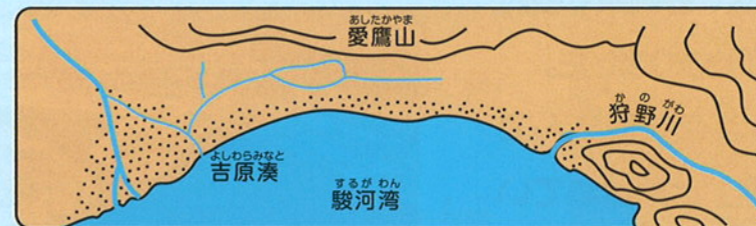
おおむかし
大昔



あづちももやまじだい
安土・桃山時代
(1500年代頃)



えどじだいちゆうき
江戸時代中期
(1700年代頃)



田子の浦周辺は、ほとんどが海で、いくつかの島が点在していました。「島」のつく地名は、その名残です。

富士川が運んできた堆積物と海からの強い波と風により、田子の浦周辺に平地が形成されました。

土地の代官「古郡」氏の三代にわたる治水工事により、富士川の水が現在の位置に移され、沼川と潤井川の合流した河口が、新しい吉原湊として利用されました。

明治から昭和の吉原湊

「吉原湊」は、江戸時代の治水工事と明治初期に完成した「沼川石水門」のおかげで、洪水や高潮の被害に悩まされながらも、「みなと」を維持してきました。



明治の頃の田子の浦港
明治の吉原湊



昭和33年当時の港ができる前の様子

あたらしい 港づくり 新しい港づくり



富士市を中心とした岳南地域は、江戸時代より富士山麓の豊かな森林と良質な地下水によって「駿河半紙」の特産地として名高く、近代になってからは製紙・パルプ工業を中心とする軽工業が発達しました。

この地域に大きな輸送力を持つ「港」を造って大企業を誘致し、大工業地帯として開発しようとする構想が戦後、静岡県で検討され、昭和33年から工事が始まりました。

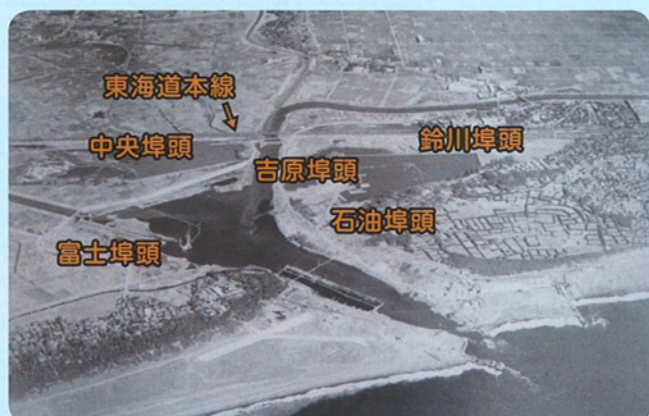
港は沼川・潤井川の合流点を掘込んで建設され「掘込式人工港湾」と呼ばれています。また掘った土は背後の工業用地の埋め立て用に使われました。

以来、入港船舶の大型化に対応できる施設整備と水深を増すための浚渫をはじめ、東海地震などの災害時の緊急物資を輸送する体制の確保や富士海岸に緑地公園を造成するなど、「地域の産業を支える安全で快適な港づくり」と「市民に関われ、親しまれる港づくり」に努めています。

工事の期間 昭和33年(1958年)から昭和44年(1969年)まで12年間かかりました。

総工事費 約130億円かかりました。

港の広さ 航路幅は120m、水域面積は約140万m²、陸域面積は約110万m²です。



昭和36年当時 中央埠頭や鈴木埠頭などの形ができています。



昭和39年当時 港の形がほぼ整いました。



昭和42年当時 中央埠頭が完成し、吉原埠頭には上屋が建設されました。

みなと しせつ 港の施設



港には、船が安全に出入りでき、貨物の積み降ろしや、保管・輸送が便利に行われるよう、いろいろな施設があります。

航路標識

船が安全に港に出入りしたり航行できるように、「灯台」や「導灯」が道案内の役割をしています。

防波堤・岸壁

〈防波堤〉 港のなかに、波が入ってこないように整備した「堤」を「防波堤」といいます。

〈岸壁〉 船が安全に着けられるように、深さが一定になるよう整備した「岸」を「岸壁」といいます。

荷役機械

〈機械式連続アンローダー〉 とうもろこし等を船から陸揚げする時に使います。ブームの先端で貨物を取り込み、ベルトコンベアに乗せて、サイロまで運びます。

〈マリンローディングアーム〉 船からガソリンや重油などを吸引し、パイプを通して石油基地内タンクに送ります。

上屋・倉庫

船から下ろされた貨物を雨にぬれないように、一時的に保管しておくところを「上屋」といい、長期間保管しておくところを「倉庫」といいます。

野積場

石炭や金属くずなど、屋外においてもかまわない貨物を一時的におくところです。



導灯



岸壁



機械式連続アンローダー



マリンローディングアーム

みなと はたら ひと
港で働く人びと



1 信号所

1 信号所
船の出入りが安全に行われるよう、船と連絡を取り交通整理をします。



2 タグボート

2 タグボート (曳船)
大きな船をひっぱったり、押ししたりして船の出入りを助けます。



4 貨物の検査

3 パイロット (水先案内人)
船が港に出入りするとき、安全に出入りできるように案内します。

4 貨物の検査
貨物の積み降ろしの時、その重量や数量を調べます。

港では国や県の事務所や数多くの民間会社の職員など多くの人々が働いています。

5 貨物の荷役・運搬・保管
いろいろな荷役機械を使って荷役をし、運送会社がトラックなどで運搬します。

すぐに運ぶことができない貨物は、上屋、倉庫、野積場に保管します。

6 国の機関
田子の浦港には、税関、海上保安部などがあります。

- 税関…貨物の輸出入手続き、密輸の取締り。
- 海上保安部…海のおまわりさんの役割。

7 港の管理運営
静岡県田子の浦港管理事務所が港湾管理者として、岸壁・上屋などの使用料をいただいたり、いろいろな工事を行っています。

8 港内清掃
河川から流れてきたゴミなどを、清掃船を使って拾い集めます。



5 貨物の荷役・運搬・保管



6 国の機関 (税関)



7 港の管理運営

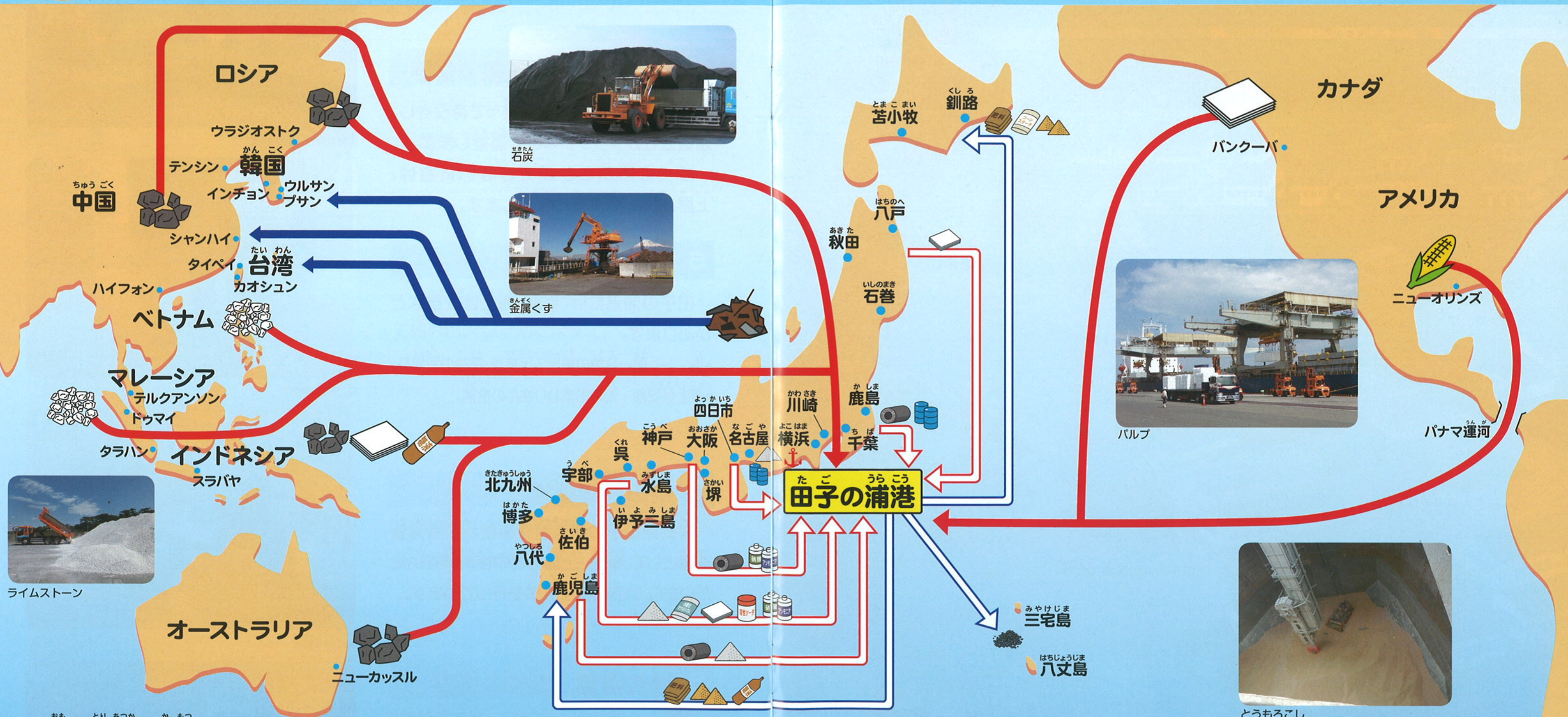


8 清掃船「ふじ」によるゴミの回収

各地とつながる田子の浦港

田子の浦港は、輸入と移入が多く、
港の近くの工場で使用される原材料が、
各地から運ばれてきています。

- 輸出 (田子の浦港から外国へ、貨物 (製品) を出すこと)
- 輸入 (外国から田子の浦港へ、貨物 (原料・材料) を入れること)
- 移出 (田子の浦港から国内の他の地域へ、貨物を出すこと)
- 移入 (国内の他の地域から田子の浦港へ、貨物を入れること)



主な取扱い貨物 [主な用途]

- | | | | | | | | |
|---|--|---------------------------------------|-------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 金属くず
[リサイクル金属の原料] | とうもろこし (メイズ)
[コーンスターチ・飼料の原料] | 石灰
[工場を動かす燃料] | パルプ
[紙の原料] | 飼料
[牛や豚のエサ] | 化学肥料
[農作物の成長を助ける] | 鋼材
[車のボディなど] | セメント
[コンクリートの原料] |
| ライムストーン (石灰石・炭酸カルシウム)
[紙の白さの調整] | 糖液
[飴やガムなどの甘味料] | 砂利・砂
[コンクリートの原料 (セメントに混ぜる)] | コーンスターチ
[食品 (ゼリーなど) を固める] | 水酸化マグネシウム
[セメントに混ぜてコンクリート強度の調整] | 苛性ソーダ (水酸化ナトリウム)
[紙を白くする] | 重油・石油製品
[工場や車・船などを動かす燃料] | アンモニア・硝酸
[化学肥料の原料] |

ひやく 飛躍をつづける たご うらこうぜんけい 田子の浦港全景



祝 富士山
世界遺産登録



静岡県田子の浦港管理事務所



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

わたしたちの田子の浦港

平成 25 年 11 月発行

編集・発行 静岡県田子の浦港管理事務所
〒 417-0015 富士市鈴川町 2 番 1 号
TEL.(0545)33-0496 FAX.(0545)33-1009
メールアドレス tago-kanri@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki3/tagonoura/>
印刷・製本 (株)エイエイピー
〒 422-8061 静岡市駿河区森下町 3-6
TEL.(054)284-6333 FAX.(054)284-6330